

地域医療連携だより

# かまんざ

救急科、形成外科より  
新任部長・所長ごあいさつ

- ② 新任部長・所長ごあいさつ  
救命救急センター、救急科、形成外科
- ④ Red Crossニュース  
スクラムを組む医療従事者たちVol.6 膠原病内科
- ⑤ トピックス  
心房細動に対する新しい治療法  
ウルフ-オオツカ法
- ⑥ お知らせ  
脳卒中市民公開講座、今後の開催予定  
分娩料金の改定

当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ

地域医療連携係 TEL 075-212-6186

平日 8:30~19:30  
土曜日 9:00~13:00

この度、2023年8月1日付で救命救急センター所長および第1救急部長を拝命いたしました。Withコロナの時代、救急医療を取り巻く現状は過酷なものとなっております。救急要請も年々増加しておりますが、現在では年間8,000台以上の搬入となっておりますが、不応需も多く全てに対応できていない現状もあります。

当院は救急科だけではなくさまざまな診療科と連携し、一丸となった対応に努めています。さらに救急医療を強化するために体幹部外傷に対応する救急医に加え、脳神経外科や整形外科などの救急医や集中治療医を獲得し、さらなる救命救急センターの強化を図りたいと考えております。

前任の飯塚亮二先生が築いてこられた救急医療をさらに飛躍させ、成宮部長と共に当院の救命救急センターに求められる医療を提供できるように努力していく所存です。また、院内においても皆様に信頼される救急科を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。

高度かつ先端の急性期医療を担う砦として  
集学的治療をチームで実践します

地域の先生方には平素より大変お世話になっております。当院の救急部門は新型コロナウイルスの感染拡大期に京都の医療崩壊をなんとか食い止めるべく努力してまいりましたが、結果的に先生方に多くのご迷惑、ご心配をおかけすることになり誠に申し訳ありませんでした。

この度、集中治療部門の責任者を拝命いたしました。重篤な病態で搬入された患者さんを初期救急治療から集中治療までシームレスに対応させていただきます。集中治療は単なる延命治療ではありません。最重症の患者さんと共に医師、看護師、薬剤師、理学・作業療法士、臨床工学技士、栄養士など多職種で社会復帰を目標とする医療を実践する場所が集中治療室です。安全で質の高い集学的治療を提供できるようチーム力を結集し、尽力いたします。今後も断らない救急を目指し病院一丸となって努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

- 認定資格 所属学会
- 日本救急医学会救急科専門医・指導医
  - 日本外科学会専門医・指導医
  - 日本外傷学会専門医・評議員
  - 日本Acute Care Surgery学会認定医・評議員
  - 日本腹部救急医学会認定医・教育医・評議員

趣味 料理  
座右の銘 「日進月歩」

- 認定資格 所属学会
- 日本救急医学会救急科専門医
  - 日本集中治療医学会集中治療専門医
  - 日本内科学会総合内科専門医・指導医
  - 日本循環器学会循環器専門医
  - 日本腎臓学会腎臓専門医・認定指導医

趣味 音楽鑑賞、スキー  
座右の銘 「力を尽くして狭き門より入れ」

救急科

第1救急部長  
救命救急センター所長  
乳腺外科副部長  
いしい わたる  
石井 亘

救急科

第2救急部長  
なるみや ひろみち  
成宮 博理



この度、2023年8月より京都第二赤十字病院 形成外科部長を拝命いたしました、恋水 諄源と申します。これまで京都府立医科大学での修練の後、京都府福知山市・滋賀県近江八幡市の市民病院で研鑽を積んでまいりました。再建外科・マイクロサージャリー（乳房再建、四肢外傷再建）、創傷外科（新鮮外傷・熱傷、癍痕・ケロイド治療）を専門分野としております。

当院形成外科は京都でも早期に開設され、長く市民の皆様の身体と心の健康に寄与してきました。今後も新しい技術を取り入れながら、患者さんや地域の先生方のご期待に沿えるよう、精いっぱい務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

多岐にわたる疾患に対し、最善の努力を尽くしてまいります



形成外科

部長

こいみず じゅんげん  
恋水 諄源

- 所属学会  
認定資格
- 日本形成外科学会 形成外科専門医・領域指導医  
皮膚腫瘍外科分野指導医
  - 日本創傷外科学会専門医
  - 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会  
乳房再建用エキスパンダー／インプラント責任医師
  - 日本臨床倫理学会上級臨床倫理認定士

- 趣味 水族館
- 座右の銘 「われわれは過去への思い出によってではなく、未来に対する責任によって賢くなるのである」

### 形成外科トピックス

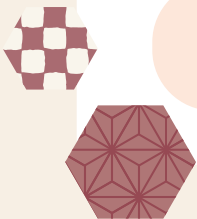
～救急疾患を中心に、質の高い治療を目指します～

当院の形成外科では、顔面外傷・重度四肢外傷・熱傷・感染症などの救急疾患を中心に、マイクロサージャリーを用いた組織移植術に加え、植皮術や保存的治療などの基本的な形成外科的技術を組み合わせ、機能的・整容的にレベルの高い結果を得ること

を目標とした治療を行います。

また、救急科・整形外科・耳鼻咽喉科・皮膚科・乳腺外科などの関係各科と連携し、各科の専門知識を結集した高度な治療を目指します。

形成外科では京都府下の診療所・病院の先生方からのご紹介を広く受け付けております。お気軽にご相談ください。



当院では、院内の多職種と連携し、職員がチーム一丸となって患者さんに最適な医療を提供しています。このコーナーではリレー形式で各部・室の現状について語っていただきます。



くきだ ゆうじ  
医長 荻田 祐司

専門分野 リウマチ膠原病

資格 日本内科学会 認定医・指導医・総合内科専門医  
日本リウマチ学会 リウマチ専門医・指導医

しまだ ゆうき  
医師 高田 勇輝

専門分野 リウマチ膠原病

## 著しい進歩を遂げる膠原病の治療法

膠原病は、全身の臓器に自己免疫性の炎症が慢性的に生じる疾患群で、関節リウマチを筆頭に全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、炎症性筋疾患、血管炎、成人発症スティル病などの病気が含まれます。関節、皮膚、肺、腎臓、血液、神経など多臓器が侵されることや「ステロイド漬け」にされるけど治らないという従来のイメージから、とっつきにくい病気と思われる先生も多いかもしれません。

しかし、治療法の著しい進歩により、現在では健常者と同じような日常生活を送られている患者さんが圧倒的の大多数になってきました。その一方で、治療法がますます専門化してきていることから、高度医療機関での治療の必要性が高まっています。

リウマチ膠原病疾患が疑われる患者さん、治療がうまくいっていないリウマチ患者さんがいらっしゃいましたら、当科までお気軽にご相談ください。

### 従来のGCに頼った治療からの脱却 ～膠原病内科の取り組み～

#### 新規治療法の積極的な導入

膠原病分野では新規治療の進歩が著しく、治療ガイドラインの改訂が頻回に行われています。当院でも積極的に新しい治療法を導入し、従来の経口グルココルチコイド(GC)に頼った治療からの脱却を図っています。当院の全身性エリテマトーデス患者のGCフリー達成率は50%と全国でもトップクラスの高さを誇ります。

#### 他科とのスムーズな連携

膠原病をはじめとした自己免疫疾患は多臓器にわたって症状が出現するため、円滑な診断治療には関係各科との連携が大変重要になってきます。

当院は、専門性の高い各科の横のつながりが強いいため、自己免疫疾患の診療には理想的な環境が整っています。

#### 日常生活への影響を最小限にする治療

「膠原病患者さんが、病気をもっていない人と同じような生活を送れる」ことが当科の治療目標です。外来治療が可能であれば極力外来で治療し、仮に入院が必要でも入院期間を極力短くすることで患者さんの日常生活への影響を最小限にするように心がけています。

地域の先生方と連携し、高い専門性を持って質の高い医療を提供いたします。

# 心房細動に対する新しい治療法 ウルフ-オオツカ法



## 心房細動の恐ろしさ

心房細動の最大の問題点は、脳梗塞などの致死的な血栓塞栓症が何の前触れもなく突然起こることです。心房細動による血流のよどみから左心耳に血栓ができ、それが脳へ飛んでしまうことによって脳梗塞が発症します。

それを予防するために、抗凝固療法（ワーファリンや

NOAC）がありますが、重大な出血性副作用などのため抗凝固療法の継続が困難な場合、また適切に抗凝固療法をされていたとしても脳梗塞を発症することがあり、完全に予防できるものではありません。

## 新しい心臓手術「ウルフ-オオツカ法」

これらの点を踏まえて、胸腔鏡下に自動縫合器を用いて、左心耳を完全に根元から切除+肺静脈隔離（不整脈を治す）を行う「ウルフ-オオツカ低侵襲心房細動手術（ウルフ-オオツカ法）」が考案されました。

当院では2019年8月より本手術法を導入しました。手術は1~2cm程度の小切開を4カ所開け、そこから専用の胸腔鏡、鉗子、自動縫合器を用いて行います。手術時間も1~2時間程度であるため、患者さんにとって負担の少ないやさしい治療です。

この手術ができるのは、京都では当院のみ、関西でも当院を含めて2施設しかありません。



術後1週間目

### 手術効果

- (1) 脳梗塞予防効果
- (2) 抗凝固療法（ワーファリンやNOAC）からの離脱効果
- (3) アブレーション効果:不整脈を治す

### 対象患者

非弁膜症性心房細動の患者さんはすべて対象となりますが、特におすすめしたいのは以下の患者さんです。

- (1) 脳梗塞予防のため抗凝固療法を受けているが、出血、貧血などの副作用や高齢、認知症、腎機能障害などの医学的理由（あるいは社会的・経済的理由）により、有効な治療を安定して継続することが難しい患者さん
- (2) カテーテルアブレーションを何度も受けたり、抗凝固療法を行ったりしているにもかかわらず、脳梗塞を発症した患者さん、脳梗塞の二次予防をしたい患者さん（脳梗塞を起こす前の一次予防がベストと考えています）
- (3) メジャー手術前で抗凝固療法の中止を必要とする患者さん
- (4) 職業などにおいて抗凝固療法により活動制限を受ける患者さん

### ウルフ-オオツカ法 症例数(件)

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
3	1	5	5	6

## ◆ 不整脈チーム

循環器内科の井上と大倉、心臓血管外科部長後藤が中心となって、すべての心房細動に対応する「不整脈チーム」を結成しました。患者さん一人ひとりの病状、背景に合わせて、チームで協力しながら最適な治療法を選択します。

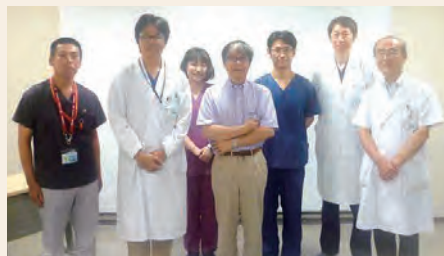


心臓血管外科 部長

ごとう ともゆき

後藤 智行

- 心臓血管外科専門医・修練指導者
- 日本外科学会専門医・指導医
- 胸部・腹部ステントグラフト指導医



2019年8月、当院不整脈チームとウルフ-オオツカ法を考案した大塚 俊哉先生（中央）

ウルフ-オオツカ法を希望される患者さん、相談したい患者さんがいらっしゃいましたら、心臓血管外科までご紹介ください。

### 心臓血管ホットライン

（院内に常駐する心臓血管外科スタッフが24時間対応）

TEL 070-2919-5316

### 地域医療連携係

（当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ）

TEL 075-212-6186

【平 日】8:30~19:30  
【土曜日】9:00~13:00

## 地域の皆様とつながる市民公開講座

### 脳卒中市民公開講座

脳卒中市民公開講座を下記日程で開催いたします。当院の医師も講演を行います。お時間あればぜひご参加ください。

日時 10月28日(土)  
13:00~15:00

場所 京都府医師会館

先着  
100名

お問い合わせ先

京都第二赤十字病院  
地域医療連携・入退院支援課

TEL 075-212-6186 (直通)

▶ プログラム

- 13:00~ 開会のご挨拶  
日本脳卒中協会 京都府副支部長  
京都医療センター 脳神経センター長・脳神経外科診療部長  
福田 俊一
- 13:05~ 講演1「ハートケアでストップ脳卒中!~どうする?心房細動~」  
京都第二赤十字病院 健診部第2検査部長 井上 啓司
- 13:25~ 講演2「脳卒中予防のための食生活改善の取組~京都府の現状をふまえて~」  
京都府健康福祉部 健康対策課 熊谷 聡子
- 14:00~ 講演3「脳卒中リハビリテーション」  
京都第二赤十字病院 リハビリテーション課 中澤 健一
- 14:20~ 講演4「連携でつなぐ脳卒中療養支援のバトン  
~『脳卒中』×『地域連携』×『多職種連携』=???~」  
京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター 榎戸 真弓
- 14:40~ 質疑応答
- 14:55~ 閉会の辞  
日本脳卒中協会 京都府副支部長 舞鶴医療センター  
脳神経外科統括診療部長 井上 靖夫

## 今後の開催予定

### 生活習慣病を考える会

上東医師会員、当院通院患者さんを対象に開催いたします。

参加人数  
100名



日時 11月16日(木)  
14:00~16:30

場所 京(みやこ)あんしんこども館1F

### 上東・西陣・北医師会 合同症例検討会



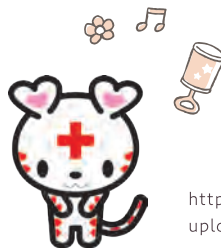
日時 12月16日(土)  
14:00~15:30

場所 京都府医師会館

## 分娩料金の改定について

当院では、2023年9月1日以降にご出産される方より、正常分娩の料金を改定することとなりました。

今後とも、よりいっそうご満足いただける出産となりますよう努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。詳細はホームページをご参照ください。



詳細は  
こちらから



<https://www.kyoto2.jrc.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/osan3.pdf>

地域医療連携だより

# かまんざ

vol.13 2023.10

+

**京都第二赤十字病院 地域医療連携・入退院支援室**

〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355番地の5

TEL 075-212-6186

FAX 075-212-6358

WEB <https://www.kyoto2.jrc.or.jp>